



指企企第28号1
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

指宿市長 田原迫 要



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企114号で依頼のあった標記の件については、別添のとおりです。

（問い合わせ先）

〒891-0497 指宿市十町2424番地

指宿市企画財政部企画課地域政策係 担当：中吉

TEL : 0993-22-2111 (内線224)

FAX : 0993-24-3826

e-mail : kikaku-kikaku@city.ibusuki.lg.jp

中期的な計画の策定に当たっての意見

1 今後の道路政策や道路の整備・管理について

【重点化を進める上で特に優先度の高い政策】

- ・住民の安全確保を図るため、災害時や緊急時の輸送道路の整備推進と交通事故対策の充実
- ・観光日本推進のため、観光地へのアクセスや交通利便性の向上
- ・農水産物の安定供給の確保を図るため、食料生産地からの高速安定輸送機能強化の整備と農道整備の拡充
- ・地方における公共サービスの確保を図るための道路整備の推進
- ・地方の特性を考慮した道路整備の推進
- ・陸の孤島となる地域の代替道路の整備
- ・幹線道路とは別の、より地域に密着した生活道路の整備

【効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと】

- ・道路整備に関するロードマップの作成・公表とスケジュール管理の徹底
- ・異なる道路管理者による地域全体の道路整備計画の作成と共有化
- ・既存施設の長寿命化
- ・維持管理業務に関する指定管理者制度の積極的な導入の推進
- ・道路整備に民間活力を導入するための法整備

【その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見】

- ・景観に配慮した道路整備の推進
- ・道路を活用したイベント等への積極的な支援
- ・国と地方の協働、国と民間の協働の推進
- ・日本風景街道の推進と、ルートへの支援拡充
- ・輸送、生活、歩行など、目的別の道路整備の推進
- ・特に地方道路に関して、計画から実施段階におけるP.I.の推進（あるいは制度化）
- ・効率化を追うあまり、都市中心の整備となり、地方切捨ての道路整備とならないこと

2 本市の国道226号整備等に関する意見

本市は、開聞岳、長崎鼻、池田湖、知林ヶ島などの景勝地を有し、世界に類を見ない天然砂むし温泉をはじめ豊富な温泉湧出量を誇り、年間300万人を超える観光客が訪れる県内有数の観光地です。

また、肥沃な大地にも恵まれ、ソラマメ、オクラ、サヤエンドウ、サツマイモなど、全国トップクラスの生産量があり、日本の食料供給基地としての役割を担っています。

一方、本市と県都鹿児島市を結ぶ国道 226 号は、住民のたいへん重要な生活道路であるだけでなく、他に代替道路がないため、本市の産業、経済、観光、文化など地域振興の全てを、この路線に頼らざるを得ない状況となっています。

しかし、国道 226 号の道路事情、特に交通量の多い鹿児島市～本市間については、海と崖に挟まれており、幅員が狭隘な区間や急カーブの区間が多く、災害・事故が頻発し、朝夕の通勤時刻や休日、イベント時などの渋滞が慢性化しています。

そのため、鹿児島市をはじめ他都市とのアクセスが非常に悪くなり、本市の生活、産業経済、観光にとって、非常に大きな制約要因となっています。

これらのことから、本市としては、国道 226 号の整備促進を強く要望しています。

また、国道 226 号は海沿いの非常に景観のよい湾岸道路であり、桜島～鹿児島～指宿～南薩の各ブロックを結ぶ「錦江湾あつまる～と」は、平成 18 年度、日本風景街道戦略会議の重点支援ルートに選定されました。

本市においても民間団体である「魅力ある指宿まちづくり協議会」が中心となり、官民協働で積極的に取り組んできた結果、これまでに大園原交差点の看板撤去による景観修復や西大山駅の電柱移設と植栽整備等の景観修復など、大変大きな成果を挙げております。

併せて、日本風景街道に関する活動に関しましても、積極的な支援をお願いいたします。

【国道 226 号の整備による効果】

- ・災害時など緊急輸送機能が強化され、住民の安心・安全の確保が図られます。
- ・時間短縮や定時性の確保により、観光地としてのイメージアップが図られ、鹿児島県全体や南九州観光の魅力向上に寄与します。
- ・高速性が向上することで、農水産物の輸送に係る時間やコストの短縮が図られ、食料供給基地としての競争力が高まります。
- ・利便性の向上により、企業誘致が進むなど産業・経済の振興対策となります。
- ・県都鹿児島市までの時間短縮により通勤圏域が広がることで、観光などの交流人口のみならず、定住人口の増加が期待されます。
- ・住民の生活道路の機能が強化されることで、日常生活が改善し、活性化が図られることで、地域全体の産業・経済・観光・文化の発展に大きく寄与します。